

水と緑とふれあいのまち 東久留米



市ではイベントや日常において多くの人やものに触れ合うことができます。
一年の始め、一歩外へ出て、自分たちの住む東久留米を肌で感じてみてはいかがでしょうか。自然の移り変わりや新しい東久留米を発見できるかもしれません。
散策の際には、便利な「ガイドマップひがしくるめ」(一部150円)を広報課(市役所2階)で頒布していますので、ぜひご利用ください。



市長
野崎重弥

あけまして
おめでとーいございます

お健やかに新しい年を迎えられたことと思います。
昨年は、夏には河童伝説がクローズアップされ、秋からは「南沢地区への大型商業施設」の誘導問題等でお騒がせいたしました。「南沢地区地区計画業務委託」に関して、不適切な事務処理が行われ、市民の皆様大変ご迷惑をお掛けいたすとともに、信頼関係を損ねましたことを深くお詫び申し上げます。
市財政の構造を変え、今後の市民生活に大型商業施設の誘導は必要であると思っておりますので、ご理解いただきたいと思います。ただ、不適切な事務処理が行われましたことは、監査報告でも指摘された事実でありますので、再発防止と信頼関係の回復に全力で取り組んでいるところでございます。社会に目を向けますと、少子高齢化はさらに進展します。子どもから高齢者まで、市民の皆様「ふれあい」を通して、先人たちが大切に育んできた東久留米のさまざまな良さを継承し、「水と緑とふれあいのまち 東久留米」の実現に向け、市政を推進してまいります。

本年も市民の皆様のご健勝をお祈りするとともに、尚一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

次号の「広報ひがしくるめ」は2月1日の発行です。
本年も「愛読」のほど、よろしく願います。



野菜ってこうやって採れるんだね



手ほどきを受けてゲームより楽しいよ



この冬もやって来ました。よろしく!



お父さんも初めてのちつき。様になってますね

昨年の夏「河童のクウと夏休み」で有名になった景色(弁天堀橋から)



初めて挑戦したげんだま。連続技にもチャレンジ!子どもも大人も楽しく遊びました。19年12月、伝承文化一音あそび会場(中央中学校校庭)で



狙いを澄まし...
きれいな川をいつまでも



高齢者も生き生きと輝いて。「生きがい健康の会」の様子(昨年の市民まつりより)